

まるやま みなみやまがた  
和気町 「丸山・南山方」の取組概要

### 地域の概要

○人口	77人
○高齢化率	69.6%
○集落数	2集落
	(R6. 1. 1)



### 取組の経過

標高約 430mの高台地帯に位置し、自然豊かな中山間地域ですが、高齢化が進み、耕作放棄地が増加し、農地の保全、文化伝統行事がままならない状況であり、集落機能を取り戻すための地域再生のシステムや実践活動が急務の課題となっています。

このため、二つの集落（行政区）が連携し、平成 20 年 5 月に丸山・南山方区集落機能再編強化委員会（通称「やまびこ会」）を結成し、ワークショップでの話し合いを重ねて「集落機能再編強化プラン」を策定しました。「すばらしい自然」という地域の財産を最大限活用した地域づくりを目指しています。

### 推進組織

丸山・南山方区集落機能再編強化委員会（通称「やまびこ会」）

### 地域の特徴

県下でも高齢化率の高い高原の山間地ですが、最近豊かな自然環境や景観を求めて都市部からの定住者が増えています。耕作放棄地対策や、みんなで支え合う元気な地域づくりを住民全体で共有し取り組んでいます。

### 代表的な取組

#### ○やまびこヤッホ～ウォーキング

参加人数：約 100 名

豊かな自然に囲まれた三保高原の地域ファンを増やそうとウォーキングコースを設定し、いつでも来て歩いていただくことにより交流が生まれ繋がりができ、地域に活力ができるきっかけになればとウォーキング大会を開催していました。

会員以外の地域住民の方々にも積極的に協力いただき、おもてなしの気持ちで心温まる交流ができました。また、野菜やお米の販売で好評を博し追加注文や問合せも入りました。今後はこれらを地域力に繋げていきたいと考えています。

#### ○初日の出を拝す会

参加人数：約 250 名

地域の伝統を受け継いでの開催で、地域の企業などの協力でなんとか続けていきましたが、高齢化のため、負担感もあり、新たな担い手の確保や地域を超えてのネットワークも必要と考えています。



きゆうたかとみしょうがっこうく  
吉備中央町 「旧高富小学校区」の取組概要

### 地域の概要

- 人口 151人
- 高齢化率 61.6%
- 集落数 3集落  
(R6.1.1)



### 取組の経過

吉備中央町の北東部、岡山市（建部町）と美咲町に隣接する高原地帯に位置します。高齢世帯が多く、行政、医療機関、教育施設や店舗などから離れていることから、生活交通手段の確保が大きな課題となっています。そこで、平成20年5月に「みんなで支え合う地域づくり協議会」を組織し、地域の課題解決に向けた様々な試行的取組を実施するとともに、中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策事業を通じて農地の維持管理にも取り組んできました。平成22年3月には、地域の課題解決に向けた「活性化計画」を策定し、「自分たちの地域は自分たちの手で」「最善の策より次善の策で素早い実践」「GENKAI(限界)集落から GENKI(元気)集落へ」を合言葉に新たなチャレンジを続け、今年で14年目を迎えます。

### 推進組織

旧高富小学校区みんなで支え合う地域づくり協議会

### 地域の特徴

地域の高齢化が進む中、買い物ツアーや地域内のパトロールを含め、高齢者の見守りを強化しています。

### 代表的な取組

- 買い物ツアーの実施（買い物支援）  
町外の大型スーパーへの買い物送迎支援を実施します。
- 一宮高校体験学習受け入れ  
毎年、町外の高校生と共に地域清掃などの共同作業を実施、中山間地域の実情を知ってもらうとともに、交流を行っています。
- 太陽光発電設備運営  
自主財源確保のため、太陽光発電設備を設置し運営を行っています。
- 自主防災部の活動  
AED講習会や防災訓練への参加をはじめ、地域ぐるみで防災力を高める活動を行っています。
- 就実大学との連携（地域に飛び出せ！大学生事業）  
薬学部の学生を地域サロン「ももカフェ」に受け入れ、「薬の飲み方講習会」「フレイルチェック」「知能クイズ」など、学生の発案による様々な共同事業を実施しています。



きゅうにいやましようがっこうく  
吉備中央町 「旧新山小学校区」の取組概要

### 地域の概要

- 人口 355 人
- 高齢化率 53.8%
- 集落数 6 集落  
(R6.1.1)



### 取組の経過

吉備中央町新山地区は、町北西部に位置し、古くは林業が盛んな地区でしたが、昭和 63 年のふるさと創生事業を契機に、岡山市の京橋朝市をはじめとする町内外のイベントに出店するなど、地区外との交流を積極的に行うようになりました。活動を通して地区内の一体感が一層強まり、地区民運動会の開催や県道沿いの花壇整備など、地域内の活性化にも取り組んでいます。近年は、過疎・高齢化の進行を受け、福祉の村づくりに力を入れており、令和元年 7 月には地域商店「新山ほほえみ笑店」をオープン、令和 2 年 4 月には、町の認可地縁団体として法人化し、安全・安心な地域づくりをさらに推進するべく取り組んでいます。

### 推進組織

新山地区活性化推進協議会

### 地域の特徴

地域住民全員を協議会会員として、地域内の交流活動、特産品開発やイベント出店に力を入れているほか、近年は地区社協・地域商店を運営し、交通支援・買い物支援・予防介護といった過疎地対策を、住民が主体となって実施しています。

### 代表的な取組

- 「新山ほほえみ笑店」の運営（買い物支援）  
食品・日用品など住民が希望する商品を仕入れ販売します。
- 無償送迎サービスの実施（新山地区内）  
買い物・通院・公共機関への送迎を行っています。
- 「山の学校」の実施（高齢者の集い・介護予防）  
「はつらつ元気体操」の実施、昼食提供などを行っています。
- 地区内ふれあい運動会  
年に一度、スポーツを通して世代を越えた交流を図ります。
- 特産のさば寿司づくり  
地区内外から注文を受け、毎年秋祭りに合わせて作ります。
- イベント出店  
町の「わっしょい和んさか吉備高原フェスタ」「自然薯祭り」に欠かさず出店しています。
- 地元の素材を生かした味噌、豆腐作り  
加工部会が地区内の原材料を使い、味噌や豆腐を作ります。
- 新年互例会  
新年を迎え、集落を越えた親睦と交流を深めています。



みくに  
備前市「三国地区」の取組概要

### 地域の概要

- 人口 190人
- 高齢化率 58.4%
- 集落数 8集落  
(R6.1.1)



### 取組の経過

備前市の北部（旧吉永町）に位置し、西は美作市、和気町、東は兵庫県と接しています。

JR山陽本線吉永駅から北へ約15～20キロ、八塔寺川の上流に広がり、大半が標高約400mの高原地域です。八塔寺ふるさと村には、茅葺屋根の民家が点在し、のどかな日本の原風景が広がっています。

近年、過疎化・高齢化が進み、地区の行事や共同作業が困難となってきたことや、有害鳥獣（鹿やイノシシ）の被害が大きいため、「おかやま元気！集落」として対策に取り組んでいます。地区に移住した元地域おこし協力隊員と協力し、有害鳥獣の駆除や耕作放棄地を活用した特産品の開発、八塔寺ふるさと村を中心とした観光振興などを検討しています。

### 推進組織

三国地区振興協議会

### 地域の特徴

自然を生かし、住みよい地域づくりと、ふるさとへ若者を呼び返す施策の推進

### 代表的な取組

#### ○地域交流事業

4月に「八塔寺ふるさと村春祭り」、11月に「三国溪紅葉まつり」を開催し、外部からの関係人口、交流人口の増加を図るためのイベントを地域住民と共に行っています。



#### ○特産品の開発

元地域おこし協力隊と協力して、耕作放棄地を活用しにんにく・さつまいも等を作付・収穫しています。

にんにくを加工した黒ミクにんにく、備前焼の破片を使った備前焼いもは特産品として定着しつつあります。

ハウスでは路地もの野菜も植え、新たな特産品として販売することも可能となり、地域の活性化を推し進めています。



ひがしつるやま  
備前市 「東鶴山地区」の取組概要

### 地域の概要

○人口	1,314人
○高齢化率	48.8%
○集落数	21集落 (R6.1.1)



### 取組の経過

備前市の南西部に位置し、西は瀬戸内市と接する地域で、鶴海（つるみ）と佐山（さやま）の2地区からなり、約80%が山地です。鶴海地区は、ブルーライン鶴海インターから海沿いに広がり、佐山地区にはのどかな田園風景が広がっています。地区内には、柴田錬三郎生家、りおう山、菖蒲園、五本桜などの観光資源があり、イチジク、ぶどう、桃などの果物が栽培されています。

少子高齢化が進み、空き家や耕作放棄地が増加し、山林も手入れが行き届いていないのが現状です。集落機能の維持・強化や地域の活性化を目的として、「おかやま元気！集落」に登録し、耕作放棄地や空き家の対策に積極的に取り組み、人口減を食い止めたいと考えています。

### 推進組織

東鶴山地区を元気にする協議会

### 地域の特徴

海あり山あり里ありの豊かな自然環境を生かした子育てのしやすい地域の形成や若年層の定住化を図るための活動を行っています。

### 代表的主な取組

#### ○地域交流事業・特産品の開発

J A事務所跡地を改装し地域内外からのお客様を迎えられるように喫茶を始めています。毎月開催のふるさとサロンでは、大勢の地域住民で賑わっています。6月には「花ショウブ祭り」11月には「いも祭り」を開催し、協議会が栽培した野菜や女性部が作る寿司・菓子等をふるまい大勢の人で賑わいます。引き続き、これらの催しが地域の観光資源となるよう、花菖蒲園、栗園、竹林などの整備を積極的に行い、地域一体となって取り組みます。



#### ○景観保全

おもてなしの心を育てようと、年間を通じ県道沿いのガードレールの清掃活動を行っています。

また、地区の入口の花壇の手入れを行い、一年中美しい花で来られた人々の目を楽しませるよう取り組んでいます。



こうねほん  
備前市 「神根本地区」の取組概要

### 地域の概要

- 人口 270人
- 高齢化率 48.9%
- 集落数 6集落  
(R6.1.1)



### 取組の経過

備前市の北部（旧吉永町）に位置し、西は和気町、東は兵庫県と接する山間地域です。JR山陽本線吉永駅から北へ約5キロ、南北に流れる八塔寺川沿いに集落が点在しています。地区内には、老人ホームや工業系の企業があり、農地では水稻、野菜、落花生などが栽培されています。

地区内にあった小学校・幼稚園が平成29年に廃校になり、同時期に唯一の食品・雑貨の小売店が閉店しました。人口減少と高齢化が一気に進んでいることから、おかやま元気！集落に登録し、神根地域の集落機能を維持し、活性化に取り組みたいと考えています。

### 推進組織

神根本区

### 地域の特徴

備前三宮である神根神社をはじめ、豊かな自然環境に点在する史跡など歴史・文化を掘り起こし、神根の魅力を再発見し内外に広めていきます。

### 代表的な取組

#### ○地域交流事業

恒例の全体行事として、春祭り、盆踊大会、グラウンドゴルフ大会、歩こう会、敬老会を開催しています。10月の第3土曜日には神根神社の境内において、約300年前から伝わる神根神社獅子舞が奉納されますが、近年地域内外から多くの方が参加され賑わっています。

また、旧神根幼稚園舎を誰でもいつでも立ち寄れる「憩いの広場（仮称）」として開放し、高齢者の閉じこもり解消や、子どもや学生の余暇の場として世代を超えた交流拠点にしたいと思います。

今後、喫茶や食事のサービスをはじめ、地域で収穫した野菜や果物の集約・加工・販売や、健康づくり・認知症予防の事業、趣味の集いなどを通じて楽しく健康寿命を延ばす活動に取り組み、地域を元気に盛り上げていきたいと考えています。（月1健康体操と口腔講習会と食事をする）



## とよの 吉備中央町「豊野地区」の取組概要

### 地域の概要

- 人口 453人
- 高齢化率 49.6%
- 集落数 21集落  
(R6.1.1)



### 取組の経過

吉備中央町豊野地区は旧賀陽町に位置し、耕作地の70%以上が水田という穀倉地帯として、古くから農業が盛んです。また、地区内には江戸時代から続く「大庄屋・小出家（原砂酒造）」があり、1800年頃に発生した大飢饉の折、私財を投げ打って民の救済を行った名士として、地域住民の間で語り継がれています。小出家の邸宅は現在空き家となっており、近年老朽化が激しくなってきたため、令和3年、この邸宅を改修し地域拠点として活用するべく、地元有志による団体が発足しました。現在、地域住民や県内の大学、有識者等の協力を得て、邸宅の保全・改修と歴史的資料の保存を実施しています。

### 推進組織

大庄屋・小出家（原砂）の保存と活用に取り組む地域住民の会

### 地域の特徴

地区内には、天皇即位の大嘗祭にお米を献上したと伝えられる「主基田」があり、小学生を対象に田植え等の農業体験を行っているほか、かつては「案山子まつり」や「大平山ハイキング」など、田園風景と豊かな自然を生かしたイベントが人気を博していました。今後は小出家の邸宅改修に力を入れ、地域活動をサポートする交流の場とすることを目指します。

### 代表的な取組

○大庄屋・小出家（原砂）邸宅の清掃・保全活動

○小出家に関する歴史的資料の収集・保存

○岡山県立大学建築学科の学生受け入れ  
(地域に飛び出せ！大学生事業)

…小出家邸宅の清掃・保全活動のほか、地域住民へのヒアリングを通じた地域冊子の作成、邸宅見取り図の作成から活用施策の検証まで、土地とそこに暮らす人々が紡いできた歴史を通して実践的に学んでいます。

○小出家当主の伝記漫画作成  
(岡山県立大学デザイン学部へ委託)

…地区内小学校の合併に伴い、地域学の教材としての活用を目指しています。



# 赤磐市「仁美地区」の取組概要

## 地域の概要

- 人口 956 人
- 高齢化率 57.2%
- 集落数 13 集落  
(R6. 1. 1)



## 取組の経過

本地域は赤磐市北部の吉井地域に位置しています。国道 484 号が域内を横断しており、西側の標高 488m の竜天山にはキャンプ場があり、天候が良いときには大山まで望むことができ多くの観光客が訪れています。

本地域で食料品を扱う J A の直売所が 2013 年に閉鎖したため、危機感を抱いた自治区役員が中心となり、運営組織を結成し、同年 5 月に地域の買物の場（生活支援拠点）となる「夢百笑」をオープンさせました。

## 推進組織

特定非営利活動法人まちづくり夢百笑

## 地域の特徴

域内には、吉井竜天オートキャンプ場、竜天天文台公園、おかやまフォレストパークドイツの森、吉井農園、山陽ゴルフクラブなどの娯楽施設を多く有しており、これらの施設を目指して、市内外から多くの観光客が訪れています。

## 代表的な取組

- サロン喫茶
 

新型コロナウイルス感染症の影響により、集う場を持つことができなかつたため、新たな通いの場づくりとして、「サロン喫茶」（夢百笑オープンスペースを活用しただべろう会）を開催するなど、新たな地域住民が集まる取組を実施しています。
- 地域資源を活かした農業体験活動
 

地域内にある小学校や保育園と協力して地域資源を活かした農業体験活動（芋ほりや田植え体験）などを行い、世代間交流にも取り組んでいます。
- 高齢者の見守り事業
 

地域の高齢者の見守りを行うモデル事業として、移動販売車を活用して地域内を回りながら地域のつながりづくりを担っています。また、吉井地域や一部赤坂地域までを対象として、高齢世帯への配食サービスも実施しています。

